

大橋交差点

大橋交差点渋滞を考える懇談会

平鹿町醍醐地区の国道13号と県道浅舞醍醐線、町道大橋明沢線が交差する大橋交差点は、朝夕に慢性的な渋滞が発生しており、平成9年第3次渋滞対策ポイントに指定されております。

これまで、信号青時間の見直しなどの対策を行ってきましたが、依然として渋滞は解消されていません。

そのため、沿線住民の方々や道路利用者、関係機関等と対策の必要性を考え、さらに今後の対策のあり方について、平成14年10月に「大橋交差点渋滞を考える懇談会」を設立し、検討してきました。



渋滞の実態と暮らしへの影響について

・整備事例の紹介
・対策案に対する意見交換

・修正案の提示
・意見交換

みんなで大橋交差点の渋滞について考えました。

渋滞の実態や問題に関するご意見が出され、交差点の改良など渋滞緩和の必要性が示されました。【第1回懇談会より】

<皆さんのご意見>

- ・国道13号が渋滞するからなのか、これと交差する県道・町道でも朝・晩には大変ひどい渋滞がみられる。
- ・右折する車が国道13号の車の流れを邪魔しているの、拡幅してスムーズに流れるような状態にしてほしい。
- ・国道より東側（西側）に住んでいるので、横手方面（十文字方面）へ車を出ようとしてもなかなか出られない。
- ・事故が合った場合の迂回路がないことが地元から問題視されている。
- ・除雪の状況を見ても、子ども達が歩けないほどに除雪の雪を歩道に盛り上げられてしまう状況である。
- ・根本的な対策としてバイパスをつくって欲しいと話も出ているが、遠大なお願いであり、いつ出来るか分からない。現在の一番大きな問題は、大橋交差点の渋滞解消であり、実現性高いところから取り組みたい。
- ・右折の通行帯があれば大分違うのではないと思う。
- ・県道、町道の交差点が直角に交わっていないことで直進を妨げ、渋滞の一因となっている。
- ・今後の交差点の問題を解消するにあたり、最終的に道路の拡幅というのが考えられるが、大橋交差点沿線の住宅では下湯沢駅の例のように、セットバックできる家は何軒もないと思う。私をはじめ数十名の方は拡幅することによって、立ち退きしなければならない状況にある。

渋滞発生要因について説明いたしました。【第2回 懇談会資料より】

大橋交差点渋滞要因(1)

◆ 交差点での車の流れ

- ・国道の直進往來がほとんどを占めています。
- ・国道からの右折車が上り下りとも30～40台あり、渋滞を招いています。



大橋交差点渋滞要因(2)

◆ バス停留所の位置

- ・交差点をはさんで、2つのバス停があります。（バスベイは無し）
- ・17:00～18:00の時間帯には上下6本のバスが走行します。



右折車両が原因となって、後続の車両が通行しにくくなっており、渋滞を招いています。



渋滞要因を解消した渋滞緩和対策（案）を示し、ご意見を伺いました。【第2回 懇談会資料より】

- 大橋交差点渋滞対策のポイント●
- ◆ 渋滞原因を取り除き、早期に渋滞緩和が期待できる計画
- ◆ 早期とは、短期間事業で3年間程度の計画に努める



●対策イメージ●

国道13号横手方面（東側）に右折レーンを設置し、道路を拡幅する。（右図）



第2回懇談会で示した対策イメージに対するご意見

- ・ 食い違い交差点の解消及び国・県・町の連携が必要である。
- ・ 下り方面（湯沢→横手）への右折レーンの設置が必要ではないか。
- ・ 歩道橋の必要性、歩道との兼ね合いについて議論が必要である。
- ・ 冬期間の利用を考慮すべきである。

委員や参加された皆様のご意見を踏まえ、国・県・町が連携した対策イメージ（案）に修正し、懇談会から了承されました。【第3回 懇談会資料より】

修正のイメージ

◆ 食い違い交差点の解消（国・県・町の連携による事業推進）

◆ 国道13号両側への右折レーン設置

◆ 歩道部分の拡幅

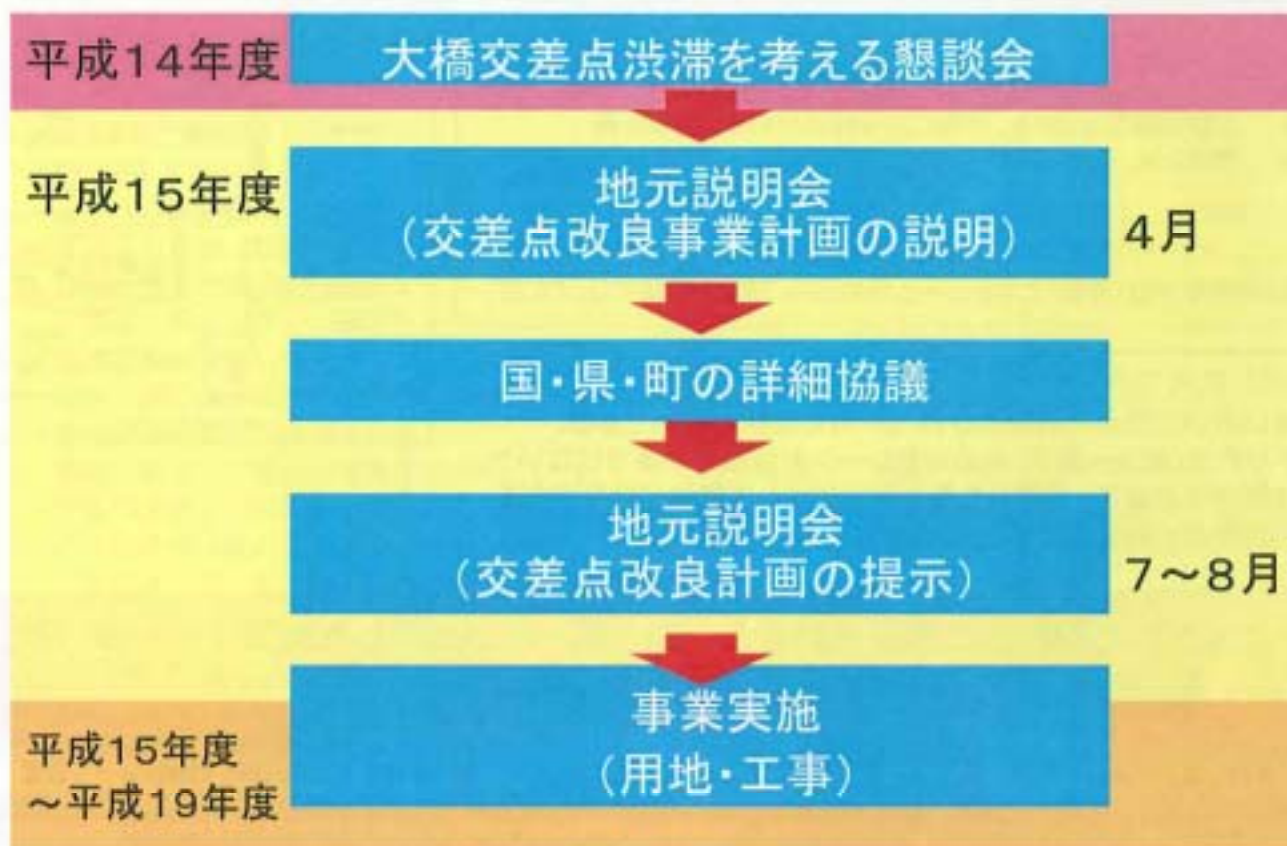
◆ 交差点たまり部の拡幅

◆ 冬期対策（流雪溝）

大橋交差点渋滞緩和対策イメージ【修正案】



●大橋交差点渋滞対策の流れ●



大橋交差点渋滞を考える懇談会委員

結崎 幹夫	平鹿町長
鎌田 勲	秋田県トラック協会雄平支部長 (第1, 2回)
我妻 實	秋田県トラック協会雄平支部長 (第3回)
熊谷 正廣	横手警察署交通課長 (第1, 2回)
坂本 幸一	横手警察署交通課長 (第3回)
佐藤 克男	醍醐小学校長
佐藤 茂	平鹿町醍醐在住
佐藤 泰壽	平鹿町醍醐在住
高橋 徳三郎	羽後交通(株) 横手自動車営業所所長
田口 克美	秋田魁新報社横手総局長
芳賀 正廣	秋田県平鹿建設事務所長
樋渡 進	醍醐小学校PTA会長
向井 専蔵	大橋地区自治会長
○森田 貞一	町議会議員 (醍醐地区)
高橋 定雄	湯沢工事事務所所長

○：座長
敬称略、主催者を除き50音順



本懇談会では、より多くの方々からご意見をいただくことを目的に、一般の方々も自由に参加し、発言できる懇談会としました。